

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E112K018		衛生学及び公衆衛生学 (Hygiene and Public Hygiene)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 玉江 和義 E-mail k-tamae@oita-u.ac.jp 内線 7624											
授業の概要	集団としての健康について学習する。公衆衛生学は、複合学問領域であるため、学習内容は種々の学問分野を通して理解されねばならない。公衆衛生学に基づく健康観、およびヘルスプロモーションの習得を通して、個人または集団としての健康維持増進の在り方を講じる。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 公衆衛生の概念、について造詣を深め、説明できる。																	
目標2 健康概念、健康観、について造詣を深め、説明できる。																	
目標3 公衆衛生に関係する各種統計、について造詣を深め、説明できる。																	
目標4 疫学による健康と環境のかかわり、について造詣を深め、説明できる。																	
目標5 ライフスタイルと健康の関係の概要、について造詣を深め、説明できる。																	
目標6 主要疾患の予防、について造詣を深め、説明できる。																	
目標7 ヘルスプロモーション、について造詣を深め、説明できる。																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 公衆衛生及び健康概念の理解																	
2 生態系、地球環境と健康との関係性																	
3 公衆衛生に関わる各種統計(人口統計学的変数)																	
4 生活習慣病、自殺																	
5 感染症																	
6 健康と環境																	
7 健康とライフスタイル																	
8 医療サービスと健康																	
9 母子保健																	
10 学校保健																	
11 精神保健																	
12 産業保健(衛生)																	
13 ヘルスプロモーションの理念(積極的保健について)																	
14 ヘルスプロモーションの実践(米国型と欧州型の融合)																	
15 まとめ																	
ラ イ ク ニ テ ン イ グ レ ブ	A:知識の定着・確認	小テスト 最終課題				工 夫 そ の 他 の	他教科(学校保健)との関連付けをしながら、授業内容を構築する。										
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	授業時間以外の日常において、健康を考究することを課す。時として、それを発問や授業内容と接続させる形で発展を促す。															
	事後学修	授業で学習した内容論と方法論を日常で実践することを強く奨励する。															
教科書	テキスト集を配布																
参考書	国民衛生の動向																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	小テスト	30%															
	最終課題	70%															
すべての小テストおよび課題の合格を単位取得の条件とする。																	
注意事項	正当な理由なき遅刻や欠席には厳正に対処する																
備考	授業における準備(授業前の検温や体調管理、マスク着用、資料集などの用意、など)を万全にして受講されたい。																
リンク																	
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	複数の国立大学法人にて20年ほどの担当経験を有する